

第1章 姫路市バリアフリー基本構想策定・改定にあたって

1. 基本構想策定の背景と趣旨

本市では、高齢者、障害者などが自立した日常生活や社会生活ができる社会の実現に向け、平成5年（1993年）10月に施行された兵庫県福祉のまちづくり条例に基づき、福祉・医療施設や物販店など誰もが利用する公益施設等のバリアフリー化に努めるとともに、「JR姫路駅南側周辺」、「JR姫路駅北側周辺」など12地区を「福祉のまちづくり重点地区」として、建築物はもとより、道路、公園等を対象とした面的な整備を進め、バリアフリーのまちづくりを進めてきました。

また、国において、建築物のバリアフリー化を進めるため、平成6年（1994年）9月に「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」（以下「ハートビル法」という。）が施行され、平成12年（2000年）11月には、公共交通機関や旅客施設などのバリアフリー化を総合的かつ計画的に推進するため「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（以下「交通バリアフリー法」という。）が施行されました。

本市では、この交通バリアフリー法に基づき、平成14年度（2002年度）に「姫路市交通バリアフリー基本構想」を策定し、「JR姫路駅・山陽姫路駅及びその周辺」、「JR英賀保駅及びその周辺」、「JR網干駅及びその周辺」の3地区を重点整備地区としてバリアフリー化を進めてきました。

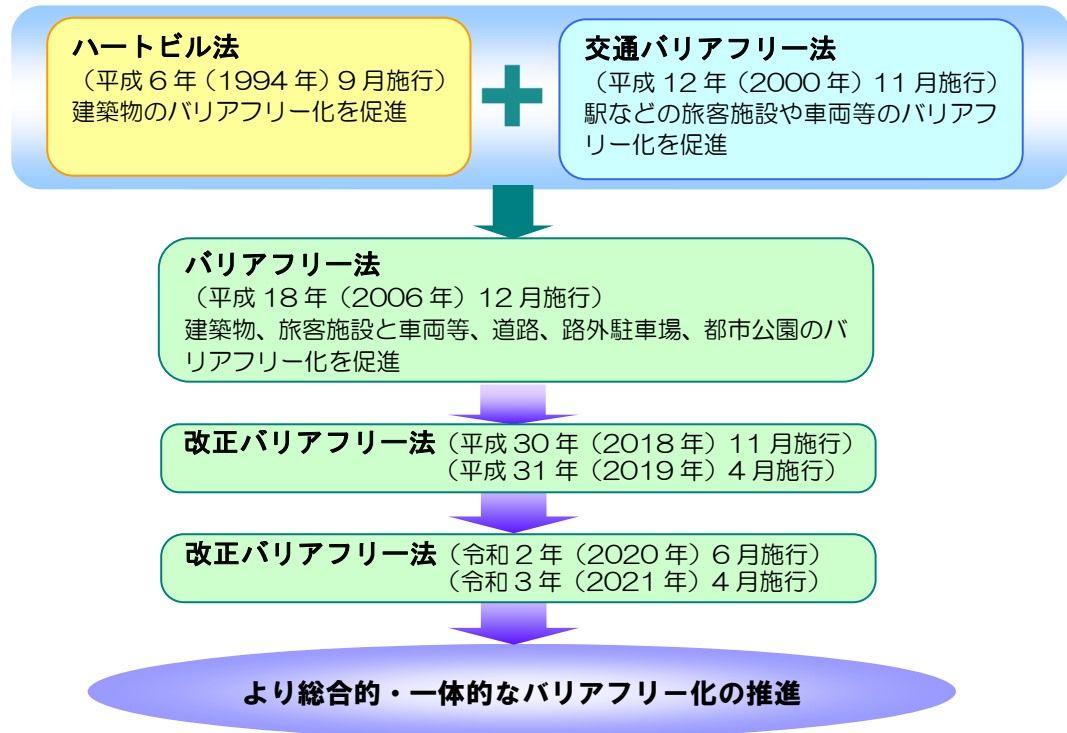
また、国において、より一体的、総合的にバリアフリー化を推進するため、平成18年（2006年）12月に、ハートビル法と交通バリアフリー法を統合・拡充させた「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（以下「バリアフリー法」という。）が施行されました。近年では、平成30年（2018年）にバリアフリー法が一部改正施行され、高齢者、障害者等も含んだ一億総活躍社会の実現の必要性から、「共生社会の実現」「社会的障壁の除去」が明確化されるなど、共生社会の実現に向けた取り組みが進められています。

加えて、令和2年（2020年）には、平成30年（2018年）12月の「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策の総合的かつ一体的な推進に関する法律」の施行や2020東京パラリンピック大会の開催を契機とした共生社会実現に向けた機運醸成等を受け、「心のバリアフリー」に係る施策などソフト対策等を強化する必要性から、更なるバリアフリー法改正が行われました（以下「改正バリアフリー法」という。）。合わせて、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」が一部改正され、令和7年度末（2025年度末）を目標期間とする次期目標が示されました。

このような中、本市では、一体的、総合的なバリアフリー化をさらに推進するため、重点整備地区や整備内容などを拡充し、「姫路市バリアフリー基本構想」を平成22年度（2010年度）に策定しました。また、平成28年度（2016年）、令和3年度（2021年）に一部変更し、「JR姫路駅・山陽姫路駅周辺地区」、「JR英賀保駅周辺地区」、「JR網干駅周辺地区」、「山陽電鉄白浜の宮駅周辺地区」、「山陽電鉄夢前川駅周辺地区」の5地区を重点整備地区と位置付け、バリアフリー化を図ってきました。

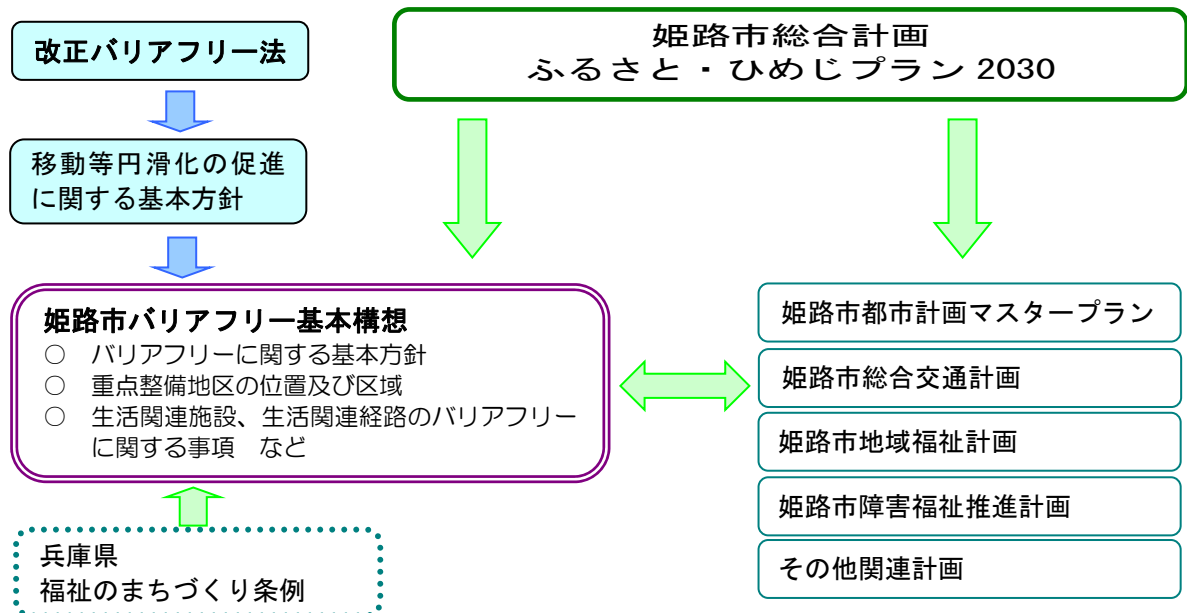
2. 基本構想改定にあたって

この度、鉄道駅のバリアフリー面の課題が多く、市民からのバリアフリー化の要望が根強い「山陽電鉄西飾磨駅周辺地区」を重点整備地区に追加し、バリアフリー化を進めていくとともに、各重点整備地区の整備の進捗状況の更新を行うこととしました。



3. 基本構想の位置付け

本基本構想は、改正バリアフリー法に基づき策定しました。また、姫路市の都市づくりの理念と方向を示した「姫路市総合計画 ふるさと・ひめじプラン 2030」をはじめ、「姫路市地域福祉計画」及び「姫路市障害福祉推進計画」等の上位・関連計画と整合を図り策定しました。



4. 基本構想の目標年次

本基本構想の整備目標年次は、事業の進捗等を把握するために 5 年後の令和 11 年度 (2029 年度) とします。

5. 姫路市の現況

(1) 人口と高齢者数の推移

現在の姫路市市域（旧姫路市、家島町、夢前町、香寺町、安富町）の人口は、昭和 60 年（1985 年）の国勢調査で 50 万人を超え、平成 22 年（2010 年）の 53 万 6 千人をピークに減少し、令和 2 年（2020 年）現在で約 53 万人となっています。

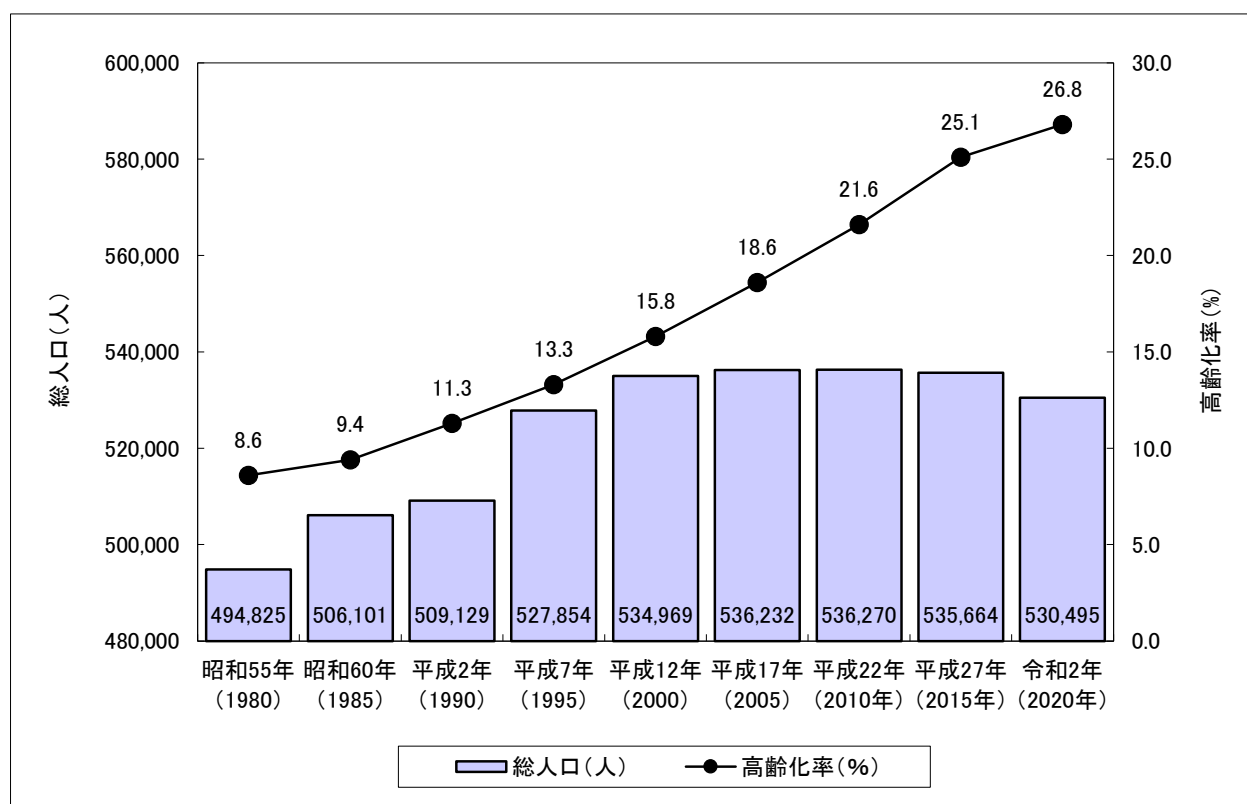
また、65 歳以上人口が総人口に占める割合（高齢化率）は、平成 2 年（1990 年）に 10%を超え、令和 2 年（2020 年）には 26.8%となっています。高齢化率は全国平均（28.6%（令和 2 年））より低いものの、高齢化の進行への対応が課題となっています。

総人口と高齢者（65 歳以上）人口推移

	昭和 55 年 (1980 年)	昭和 60 年 (1985 年)	平成 2 年 (1990 年)	平成 7 年 (1995 年)	平成 12 年 (2000 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)	令和 2 年 (2020 年)
総人口 (人)	494,825	506,101	509,129	527,854	534,969	536,232	536,270	535,664	530,495
65 歳以上人口 (人)	42,766	47,634	57,460	70,384	84,387	99,606	115,703	134,671	142,411
高齢化率 (%)	8.6	9.4	11.3	13.3	15.8	18.6	21.6	25.1	26.8

注：昭和 55 年から平成 17 年は、旧姫路市、家島町、夢前町、香寺町、安富町の合計値とした

資料：各年国勢調査



(2) 障害者数

姫路市の障害者手帳等所持者数は、令和6年(2024年)4月1日現在で延べ29,899人となっています。

障害者手帳等所持者数

区分	人数(人)
身体障害	18,793
知的障害	6,395
精神障害	4,711
延べ人数	29,899

身体障害者 障害別内訳

区分	人数(人)
視覚障害	1,030
聴覚・平衡機能障害	1,548
音声・言語・そしゃく機能障害	227
肢体不自由	10,418
内部障害	5,570
延べ人数	18,793

資料：令和6年度姫路市の健康福祉（令和6年4月1日現在）

(3) 公共交通機関

① 鉄道

姫路市内では、J R 山陽新幹線及び J R 山陽本線が東西方向をつなぎ、北部方向には J R 姫新線と J R 播但線が走っています。また、山陽電鉄が山陽姫路駅を起点に、飾磨駅経由で網干方面と阪神電鉄・阪急電鉄との相互乗り入れにより神戸・大阪方面へ延びています。

平成28年(2016年)に J R 東姫路駅が開業し、姫路市内の鉄道駅は、J R 西日本は16駅、山陽電鉄は15駅となりました。各駅の乗降客数は次の通りです。

鉄道駅の1日平均乗降客数

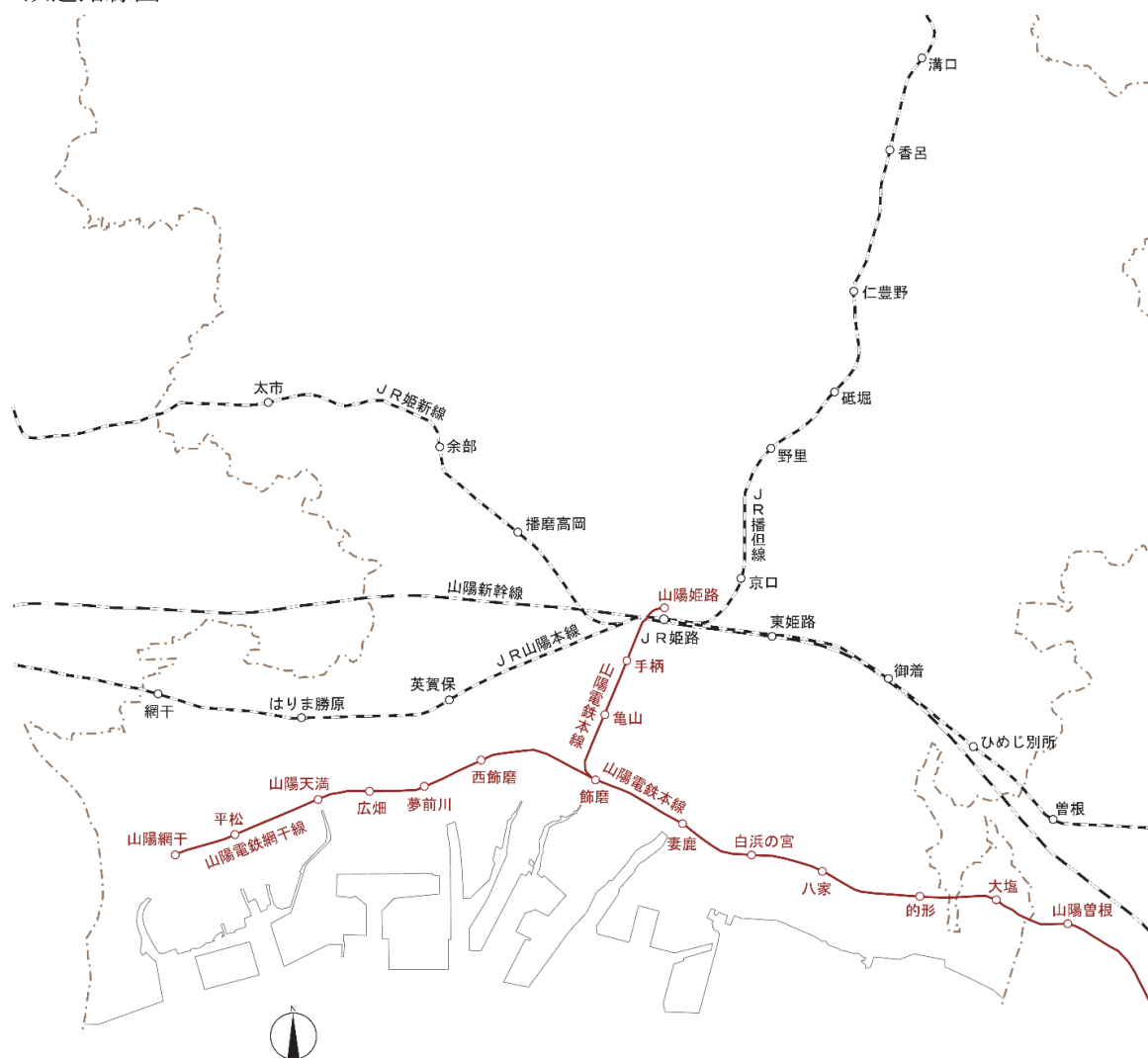
(単位:人)

JR 西日本	1日平均乗降客数		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
姫路	80,558	91,574	97,078
東姫路	3,348	3,628	3,836
御着	4,902	5,096	5,306
ひめじ別所	2,640	3,084	3,340
英賀保	7,806	8,524	8,734
はりま勝原	9,562	10,460	10,696
網干	12,616	13,470	13,630
京口	1,938	2,076	2,236
野里	3,520	3,654	3,748
砥堀	1,266	1,412	1,470
仁豊野	1,840	1,928	1,952
香呂	2,674	2,922	3,124
溝口	3,010	3,138	3,136
播磨高岡	3,050	3,194	3,440
余部	3,818	4,110	4,194
太市	654	742	774

山陽電鉄	1日平均乗降客数		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
姫路	18,274	21,017	22,566
手柄	1,680	1,865	1,948
亀山	1,776	1,960	2,048
飾磨	6,174	6,873	7,289
妻鹿	1,888	2,061	2,163
白浜の宮	4,408	4,864	5,234
八家	1,967	2,129	2,259
的形	1,233	1,275	1,361
大塩	3,016	3,472	3,602
西飾磨	1,618	1,808	1,945
夢前川	1,548	1,306	1,414
広畑	1,410	1,540	1,591
天満	1,528	1,654	1,790
平松	920	1,032	1,075
網干	2,747	3,069	3,246

資料：西日本旅客鉄道(株)・山陽電気鉄道(株)

■鉄道路線図



② バス

姫路市内では、神姫バスが路線バスを運行しています。

高齢化が進行する中で、市民の交通手段としてバスの役割は高まってきており、市民のニーズに対応したバス路線の再編やノンステップバスの導入によるバリアフリー化などへの取り組みが行われています。

バス車両保有状況(姫路市内分)

(単位:台)

	ノンステップバス	ワンステップバス	リフト付きバス	その他	総車両数
令和元年度 (2019年度)	78	29	2	14	123
令和2年度 (2020年度)	81	27	2	13	123
令和3年度 (2021年度)	74	26	2	16	118
令和4年度 (2022年度)	71	29	2	12	114
令和5年度 (2023年度)	79	26	2	13	120

資料：神姫バス(株)